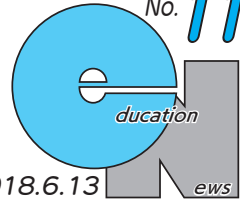


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 114



2018.6.13

博物館 子ども体験教室

「できた」が喜びに、「楽しさ」がカに

博物館ではさまざまな子ども体験教室を開催しています。4月14日には「火おこし体験」(写真上)、4月21日には「まが玉を作ろう」(写真下)が行われました。ピカピカのまが玉を作り上げたときや長い時間かかって、やっと火をおこすことができたときにみせる子どもたちの笑顔はとても誇らしくみえました。



- ◆平成30年度教育行政の基本方針と重点施策 …… 2
- ◆平成30年度教育費当初予算の概要 …… 3
- ◆博物館第28回収蔵品展／給食で使用する自慢の川越産 … 4
- ◆知っ得！文化財…………… 5
- ◆教育相談Q & A／子どもが参加できる各種講座… 6
- ◆子どもが参加できる各種講座…………… 7
- ◆子どもサポート委員会／就学援助のお知らせ…… 8

川越市マスコットキャラクター
ときも



フォトニュース



川越市には全部で2,873枚のワッペンが贈られました

交通安全を願って「黄色いワッペン」贈呈

4月5日、「黄色いワッペン贈呈式」が市役所東庁舎で行われました。交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」は、「交通事故にあわずに毎日安全に通学してほしい」との願いを込めて、新小学1年生を対象に市内4企業から毎年贈られています。

この活動は、交通事故でわが子を失った母親が交通事故の撲滅を訴えて始まり、今年で54年目を迎えました。

新小学1年生は贈呈式で「黄色いワッペン」を付けてもらい、交通安全を元気に誓いました。



児童一人ひとりとハイタッチや握手をしながら退場する渡邊選手

「謙虚な心と努力の積み重ねが大切！」 渡邊選手が母校訪問

3月26日、平昌オリンピック・スケート(ショートトラック)日本代表の渡邊啓太選手が母校の泉小学校を訪問しました。渡邊選手は、カナダ・モントリオールで3月18日に行われたスケートショートトラック世界選手権男子5千メートルリレーで3位となり、銅メダルを獲得。修了式の後に開かれた歓迎会で、「夢をかなえるためには謙虚な心で努力を積み重ねることが大切。」と後輩たちにメッセージを送りました。子どもたちは渡邊選手との交流を通して、スポーツへの興味や関心が高まり、努力することの大切さをあらためて感じていたようでした。

平成30年度 教育行政の基本方針と重点施策

川越市と川越市教育委員会では、毎年度「教育行政の重点施策」を定め、教育に関するさまざまな施策を推進しています。第二次川越市教育振興基本計画の5つの方向性を本市の教育行政の基本方針とし、平成30年度の重点施策を次のとおり決めました。

*「第二次川越市教育振興基本計画」、「平成30年度教育行政の基本方針と重点施策」は、川越市ホームページでご覧いただけます。
川越市公式ホームページ＝<http://www.city.kawagoe.saitama.jp>

基本理念と3つの目標

第二次川越市教育振興基本計画に定める「基本理念」と「3つの目標」を基に、教育行政を推進します。

基本理念 生きる力と学びを育む川越市の教育

3つの目標

次代を担いたくましく生きる児童生徒の育成
ふれあいと思いやりのある地域社会の実現
心豊かで生きがいを持てる市民社会の実現

基本方針及び重点施策



方向性Ⅰ 「生きる力を育む学校教育の推進」

- | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 確かな学力の育成 | ①学力向上対策の推進 | ②各学校の課題に応じた学校支援事業の推進 |
| 2. 校種間連携の推進 | ①小学校・中学校連携の推進 | ②中学校・市立川越高等学校連携の推進 |
| 3. グローバル化に対応する教育の推進 | ①英語指導助手(AET)の配置事業の充実 | ②小学校外国語活動の推進 |
| | ③小学校・中学校英語教育の充実 | ④国際理解教育の推進 |
| 4. 情報教育の推進 | ①ICT教育の推進 | ②情報モラル教育の推進 |
| | ③コンピュータ施設・設備の充実と活用 | |
| 5. 生徒指導の充実 | ①いじめ防止対策の推進 | ②不登校対策の推進 |
| | ③教育相談の充実 | |
| 6. 教職員の資質向上 | ①いきいき登校サポートプランの推進 | |
| | ①経験者・特定研修の充実 | ②管理職等研修の充実 |
| | ③専門研修の充実 | |
| | ④若手・中堅教員の育成 | ⑤大学等進学指導力向上研修の推進 |
| 7. 学習環境の整備・充実 | ①大規模改造工事等学校施設の整備の推進 | |
| | ②普通教室への空調設備の設置 | ③教育機会均等化のための支援 |
| 8. 学校給食の充実 | ①給食内容の充実 | ②学校給食施設の整備 |
| 9. 市立川越高等学校の改革・充実 | ①市立川越高等学校教育環境の整備・充実 | |



方向性Ⅱ 「活力ある地域を創る生涯学習の推進」

- | | | |
|-------------------|----------------------|--------------|
| 1. 家庭への支援 | ①家庭教育の支援 | ②学童保育の充実 |
| 2. 地域の教育力の向上 | ①学校・家庭・地域の連携推進 | |
| 3. 生涯学習を推進する基礎づくり | ①生涯学習を推進するための体制の充実 | ②市民参加の体制の充実 |
| 4. 身近な学習施設の整備・運営 | ①公民館の設置 | ②既存公民館の整備・運営 |
| 5. 市立図書館の充実 | ①図書館資料・情報提供サービス機能の充実 | |
| | ②図書館を活用した学習活動の推進 | |
| 6. 博物館の整備・充実 | ①博物館・蔵造り資料館の整備 | |



方向性Ⅲ 「歴史文化の継承と新しい市民文化の創造」

- | | | |
|------------|---------------------------|-------------|
| 1. 文化財の保護 | ①文化財指定等による保護 | ②河越館跡の整備・活用 |
| | ③山王塚古墳の整備 | |
| 2. 文化芸術の振興 | ①連携・協働による新たな文化芸術の創造 | |
| | ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり | |
| 3. 美術館の充実 | ①展覧会等の充実 | |



方向性Ⅳ 「多文化共生と国際交流・協力の推進」

- | | | |
|------------------|-----------|------------------------|
| 1. 国際感覚に優れた市民の育成 | ①人材の発掘と育成 | ②国際交流に関係する市民団体等との協力と連携 |
|------------------|-----------|------------------------|



方向性Ⅴ 「生涯スポーツの推進」

- | | | |
|---------------|---------------------|---------------|
| 1. スポーツ活動の推進 | ①総合型地域スポーツクラブの設置・育成 | |
| | ②スポーツ教室・大会等の充実 | |
| 2. スポーツ環境基盤整備 | ①スポーツ指導者等の養成・活用 | ②スポーツ施設の整備・充実 |

平成30年度 教育費 当初予算の概要

川越市の平成30年度一般会計当初予算額は1,134億8千万円。そのうち、教育費は146億1,667万5千円で、12.9%を占めています。この予算は、どのように使われるか、その概要をお知らせします。

教育費合計 146億1,667万5千円



平成 29 年度 9 月から運用がはじまった
菅間第二学校給食センター

学校保健費 (32億6,620万円)

学校保健・学校給食に関することに使います。

主な事業

- 学校保健活動の充実
- 学校給食センター運営管理
- 学校給食センター施設整備

社会教育費 (28億6,810万8千円)

社会教育に関する事業、文化財の保存・整備などに使います。

主な事業

- 川越・地域子どもサポート推進
- 仮称霞ヶ関西公民館建設
- 学童保育室運営管理
- 学童保育室整備
- 山王塚古墳調査
- 河越館跡整備
- 蔵造り資料館耐震化
- 図書館資料の充実



平成 29 年度の調査で発掘された
山王塚古墳の石室

高等学校費 (7億7,046万7千円)

特別支援学校費 (1,984万4千円)

市立川越高等学校・市立特別支援学校の運営管理などに使います。

主な事業

- 体育館照明等落下防止改修工事
- 教育情報機器の整備・充実
- 理科教育等備品整備



平成 29 年度に大規模改修工事を
実施した川越小学校

教育総務費 (27億5,771万7千円)

教育委員会全般に関すること、教職員の研修、特色ある学校づくりなどに使います。

主な事業

- スクールソーシャルワーカーの配置
- オールマイティーチャーターの配置
- ネットパトロール
- スクールランチ作戦
- 科学わくわくラーニングプログラム
- 英語指導助手の配置
- さわやか相談員の配置
- 特別支援教育支援員の配置



科学わくわくラーニングプログラム

教育総務費
18.9%

小学校費
16.6%

中学校費
17.2%

学校保健費
22.3%

社会教育費
19.6%

高等学校費
5.3%

特別支援学校費
0.1%

小学校費 (24億1,980万7千円)

中学校費 (25億1,453万2千円)

小中学校の運営管理、施設整備などに使います。

主な事業

- 小中学校施設整備
- 小中学校普通教室空調設備整備
- 小中学校大規模改修
- 小中学校指導事務
- 小中学校情報教育推進
- 小学校タブレット端末導入及び校内 LAN 敷設

新規事業・主要事業は…

新規事業としては、市立川越高等学校の体育館の照明器具等を構造体に固定するとともに、照明器具をLED対応型に交換し省エネを図るため、体育館照明等落下防止改修工事を実施します。

主要事業としては、本年度中に全市立小中学校の普通教室にエアコンを設置します。老朽化している小中学校施設については、大規模改修工事やトイレ改修工事等を計画的に実施し、教育環境の改善を図ります。また、ICTを活用した授業実践を行うため、小学校15校へタブレット端末の導入及び校内無線LANの整備を進めます。学童保育室については、狭あい化、老朽化に対応した施設整備を行い、保育環境の改善を図ります。仮称霞ヶ関西公民館については本年度中の竣工に向けて建設工事を計画的に進めます。

学校教育では、各学校のさまざまな課題に対応するため、本市独自のオールマイティーチャーター配置事業を引き続き推進していきます。いじめ、不登校等の課題を抱える児童生徒への教育相談体制の一層の充実を図るためのスクールソーシャルワーカー配置事業、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するための英語指導助手配置事業を拡充します。

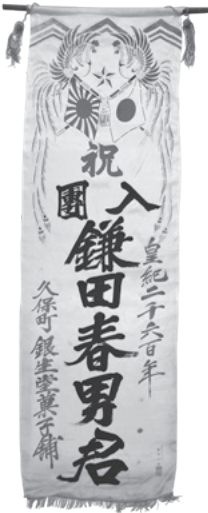
「戦中・戦後の川越の歩み」

◇会期 7月14日(土)～9月2日(日)

川越市立博物館では、平成二年に開館して以来、川越市や周辺地域の方から、多くの貴重な資料を寄贈・寄託いただいています。当館では、これらの資料を広く公開する場として、毎年、収蔵品展を開催しています。

今回の収蔵品展では、「戦中・戦後の川越の歩み」と題して、主に昭和二十年に終戦した太平洋戦争の時代を対象に展示を行います。この時代、出征した兵士や、銃後(※)の地域の人々がどのような境遇に置かれたのかを振り返ります。

この戦争では、全国で約三〇〇万人が亡くなりました。左の写真は出征戦(のぼり)で、出征兵士を出した家では、このような戦をたくさん掲げて、兵士を送り出しました。戦争で苦労したのは、戦地に行った兵士だけでなく、それを送り出した地域社会の人たちも、食料の配給や軍需工場への動員などにより、物資不足のなかで多くの制約をうける市民生活を送りました。



右の写真は、昭和二十年の福原国民学校(現在の福原小学校)の日誌です。空襲警報がひんぱんに鳴り、そのため授業が中止になったり、天皇によるいわゆる玉音放送が行われた八月十五日のことも記されています。

今回の収蔵品展では、これらの資料から、当時の人々の苦難を振り返り、平和な時代に生きる尊さを考える機会となれば幸いです。

博物館 TEL 222-5399

※銃後とは、直接戦闘に参加していない国内・国民。

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～

今回紹介するのは

なす



川越市マスコットキャラクターときも

新鮮なおいしい なす を見分けるポイント



なすは原産地がインドと言われていますが、日本でも千年以上前から栽培され、様々な料理に使われています。日本では古くからぬか漬けとして食べられていますが、糠に多く含まれているビタミンB₁をなすがたくさん吸収するので、これからの暑い季節へ向けて、夏バテ予防や疲労回復にうってつけの一品です。

なすは果肉の密度が低くスポンジ状なので、油をよく吸います。煮物などにする場合も、一度高温でさっと揚げると旨みが出る上、色の変化も抑えられます。

学校給食では夏からの旬に合わせて、川越で収穫されたなすを「マーボなす」や「夏野菜カレー」などで使用します。ご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

☆なすの保存方法☆

なすは暑い時期に採れる野菜なので、冷蔵庫に入れておくことで低温障害を起こしやすく、硬くなり傷みも早くなります。

水分が逃げないように1個ずつラップか新聞紙に包んで袋に入れて冷暗所に保存し、なるべく早く使うようにしましょう。

教育相談Q&A

◆家庭学習を習慣化させるには

【Q】小学6年生の息子を持つ親です。息子は毎日宿題には取り組んでいるものの、それ以上の学習はせず、中学校で授業の復習などができるのだろうかと心配しています。

息子に理由を聞くと、「宿題以外はやりたくないし、遊ぶ時間が減ってしまう。」といった言葉が返ってきます。親としては家庭学習の習慣を身につけ、自分で学ぶ楽しさを知ってほしいと願います。何かよい方法はありませんでしょうか。

【A】子どもたちにとって、学習を継続するためには、それを「楽しいもの」と感じることが重要です。次のようなポイントを意識して働きかけてみてはいかがでしょうか。

①授業ノートの工夫

お子さんの授業ノートを見ていますか。学校の授業内容を把握したり、お子さんの学習の様子を知ったりするためにはノートを見ることがとても有効です。もしお子さんが板書の内容だけを記入しているようでしたら、「自分で考えたことや、疑問に思ったことをメモしてごらん。」とアドバイスしてあげてください。授業を静かに聞いて、黒板の字を写すことも大切ですが、頭の中で深く考えたことをメモしていくことはさらに重要です。宿題で行っていることが、ドリル学習中心でしたら、自主学習でそのメモを頼りに調べ学習を行ったり、自分なりの考えを文章にまとめたりするようにしてみてください。ご家庭でも、その

メモや考えを積極的になめたり、逆に質問したりすると、さらに深い学びになっていくと思います。

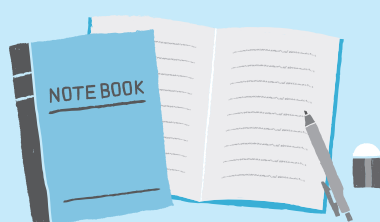
②親子学習時間の視点を変える

小さいお子さんであれば、テレビを見ていて、「どういう意味。なんで。」と聞いてくることも多いかと思いますが、実はこれがチャンスです。子供たちの頭の中は「知りたい。なぜだろう。」といった知的好奇心でいっぱいです。質問に答えてあげることも大切ですが、それ以上に、一緒に調べることをお勧めします。また、「この本読んでごらん。」とか、「辞書になんて書いてあるかな。」というように、日常生活の一部を学習に置き換える工夫はいかがでしょうか。机に向かって取り組む学習と併せて行っていくと「学ぶ楽しさ」を日常生活から感じる子になることでしょう。

③学習の足跡を残す

もう一つ大切なポイントは、学習した足跡を残すことです。例えば、家庭学習ノートが1冊終わると、自分でやり遂げた喜びが感じられます。あまり分厚いノートだとかなかなか終わらず、達成感が得られにくくなります。最初は薄いノートから始めて、何冊終わったかで振り返りを行ってもよいでしょう。

一度にたくさん行おうとせず、1日1ページ、あるいは1週間で5ページくらいのペースで行います。ノートが進むにつれて、毎日の積み重ねが目に見える形になります。はじめのうちは内容や方法が深まらなくても、続けていくうちに自分だけの「マイ学習ノート」ができていくことでしょう。



6～10月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
子ども映画会	6月16日、7月15日、8月18日、9月16日 13時30分～	○	中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
アニメ映画会	7月21日、8月12日、9月8日 13時30分～	○	
夏休み工作教室	7月31日 ①10時～11時 ②15時～16時 申し込み＝7月3日、9時30分から電話またはファクス、来館受付(定員各回20人)		
夏休み子ども点字教室	8月2日 10時～12時 申し込み＝7月5日、9時30分から電話、ファクスまたは中央図書館1階カウンターで受付(定員10人)		
ちょっぴりこわいおはなし会	8月21日 15時～15時40分		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
この本、おもしろいよ！ ～これから読めるオススメ本の紹介！～	8月17日 小学校低学年の部：9時45分～10時15分 小学校中学年の部：10時45分～11時15分 小学校高学年の部：11時45分～12時15分		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		
夏休みおはなし会	7月24日 10時～		
ちょっとこわいおはなし会	8月2日 10時30分～		
こわいおはなし会	8月9日 10時30分～		
こわいこわいおはなし会	8月9日 16時～		
あきのとくべつおはなし会	10月13日 10時30分～		

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
にちょうおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		
夏休み工作教室	7月26日 ①10時～11時 ②14時～15時 8月23日 ①10時～11時 ②14時～15時 申し込み＝7月5日、9時30分から電話または来館受付(定員各回8人)		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
かすかにこわいおはなし会	8月20日 16時～		
ぬいぐるみおとまり会とおはなし会	9月28日・29日 申し込み＝9月3日、9時30分から電話または来館受付(定員各回8人)		
どようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～(6月まで)、15時～(7月から)		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
こわいおはなし会	7月25日 ①10時30分～ ②15時～		
あきのスペシャルおはなし会	10月21日 15時～		
ミニ縄文土器を作ろう	7月25日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝7月3日、9時から電話またはファクス(定員各回24人)		
遊びの時間	7月28日・29日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分		
探検!!となりのまちの博物館 (親子参加)	8月1日 9時～16時 会場＝埼玉県平和資料館、JAXA地球観測センター ※弁当持参 申し込み＝7月11日必着で往復ハガキ(定員40人・抽選) ※4年生以上は子どもだけの参加可	○	
ミニ灯笼を作ろう(美術館共催)	①8月8日 10時～15時30分 ②8月9日 10時～15時30分 会場＝博物館・美術館 申し込み＝7月11日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)		博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
親子で木をつかって遊ぼう (親子参加)	8月18日 10時～15時30分 申し込み＝8月2日、9時から電話またはファクス(定員20人)		
弥生機で小物作り	8月23日 10時～15時30分 申し込み＝8月7日、9時から電話またはファクス(定員15人)		
親子で香りを聞くー香道体験ー (親子参加)	9月15日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 会場＝川越城本丸御殿 申し込み＝9月4日、9時から電話またはファクス(定員各回10人)		
和楽器体験 ー琴・三味線に挑戦ー	9月29日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 会場＝川越城本丸御殿 申し込み＝9月6日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)		
夏休み体験講座 お茶の味くらべ	8月1日・8日 10時～11時30分 対象＝小3以上 申し込み＝7月2日、10時から電話またはファクス(定員15人)		
あそびの広場 「LEDで夏休み工作教室」	8月21日 14時～16時 対象＝小4以上 申し込み＝7月9日、10時から電話またはファクス(定員30人)		南公民館 TEL243-0038 FAX240-1968
夏休み子ども映画会 「ムーミン谷の彗星」	8月22日 13時30分～15時	○	
世代間交流事業 「囲碁で交流」	8月22日・23日・24日 10時～12時 対象＝小学生 申し込み＝8月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		北公民館 TEL222-1400 FAX229-1210
土曜子ども映画会	6月16日、9月15日 10時～11時		高階南公民館 TEL245-3581 FAX240-1752
科学で遊ぶ おもしろ実験室 「光る泥だんごに挑戦!」	7月28日、8月4日 9時30分～ 申し込み＝6月26日、9時から電話または来館受付(定員20人)	○	大東公民館 TEL243-0022 FAX240-1754
子ども環境教室 ペットボトルを作ろう!!	7月23日 14時～16時 申し込み＝7月2日、9時から電話またはファクス(定員40人)		
石と森の夢工房	①8月18日、②10月20日 ①②とも10時～11時30分 申し込み＝①7月11日、10時から電話またはファクス ②9月19日、10時から電話またはファクス(定員各回30人)	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
夏休み子ども映画会	8月24日・25日 10時～11時30分	○	
夏休み料理教室	7月30日 ①9時30分～12時 ②13時30分～16時 会場＝総合保健センター 申し込み＝7月9日必着でハガキ(定員各回10組抽選)	○	学校給食課 TEL223-6035 FAX223-0935
食の探検隊	11月14日 申し込み＝10月15日必着でハガキ(定員10組・抽選) ※詳しくは、10月の献立のお知らせ、または広報川越(9/25号)をご覧ください。	○	
ジュニア卓球教室	7月23日・25日・26日、8月1日・3日 9時30分～11時30分 対象＝小4～小6 会場＝川越運動公園総合体育館サブアリーナ 申し込み＝7月3日必着でハガキ		スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
初心者ジュニア水泳教室	8月1日～3日・6日・7日 10時～12時 対象＝小3～小6 会場＝川越小学校プール 申し込み＝7月5日必着でハガキ		
第15回 川越市生涯スポーツフェスティバル	11月3日 8時30分～15時10分 会場＝川越運動公園 申し込み＝9月頃募集開始(ウォーキング、綱引き)	○	
ジュニアアートスクエア	①7月14日、②8月25日、③9月22日、④10月27日 ①～④すべて10時～12時 申し込み＝①7月5日、②8月5日、③9月5日、④10月5日までに電話またはファクス(定員各回20人・抽選)		
にじうおのペタペタ焼きをつくろう	7月28日、8月5日・11日・19日・25日、9月2日 各日 ①10時～12時 ②14時～16時 申し込み＝開始1時間前に整理券配布(定員各回20人)	○	美術館 TEL228-8080 FAX228-7870
夏のワークショップ 「クレイdeアニメ」	7月29日 9時30分～15時 申し込み＝7月5日までに電話またはファクス(定員20人・抽選)	○	
絵本の読み聞かせ会	①8月8日 ②9月8日 ①②とも10時～12時 ※出入り自由	○	
認知症サポーター養成講座	7月7日 ①10時～11時30分 ②15時～16時30分 会場＝霞ヶ関市民センター 申し込み＝電話で地域包括支援センターかすみへ(Tel234-8181)	○	地域包括ケア推進課 TEL224-6087 FAX229-4382
認知症サポーター養成講座	①7月26日 ②8月23日 各日10時～11時30分 会場＝南公民館 申し込み＝電話で地域包括支援センター連雀町へ(Tel229-5332)	○	

* 日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

* □の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

* 「中学生」の欄に○がついている講座は、中学生にもお勧めの講座です。

ひと、ホット、ほっと! がんばる子どもサポート委員会!

学校と地域が
咲かせる笑顔の花!

山田地区子どもサポート
委員会

学校応援団事業を中心に年間をとおして活動が盛んな山田地区。サポート委員の皆さんが様々な場面で地区の子どもたちの学習を温かく支援しています。

山田小学校では全学年の学習支援にサポート委員が関わっています。一年生は虫とりや昔遊び、二年生はザリガニ釣りやさつまいも栽培。三年生はかし作りやのこぎりの使い方支援。四年生は図工支援。五年生は「山田再発見の旅」という藍染め体験や生け花、紙すきや稲作にお雛子体験。六年生はミシン実習補助など一年間を通じて充実した体験活動を展開することができました。



山田小学校田植え体験



山田中学校収穫祭

山田中学校では、一年を通じて、米作りを体験し、学習のまとめとして収穫祭を行っています。自分たちで作ったお米を薪をくべた釜で炊き、学校ファームで収穫した野菜を使った味噌汁を作りました。収穫祭では、サポート委員長から、「災害等が実際に起きた時には、皆さんが地域の大きな力になります。地域の未来を担う皆さんには、ここで学んだことを忘れずに、しっかりと覚えていて欲しいと思います。」とお話がありました。生徒は皆、活動の意味を改めて理解し、一人ひとりしっかりとした態度で話を聞いていました。

山田地区は地域も学校も真剣に、そして笑顔で活動に取り組んでいます。

郷土について再認識し、防災意識を高め
る活動をしています!

川鶴地区子どもサポート
委員会

川鶴地区では八月に、川鶴地区子どもサポート委員会主催による子ども防災キャンプが川越西小学校体育館を会場として開催されました。当日は川鶴地区の児童と中学生ボランティア十六人が参加しました。一日目は参加した子どもたちが自分たちで寝床をつくり、食事もある実際の避難所での生活を想定して行われました。活動の途中には防災講話等も行われ、子どもたちの防災意識を高める活動が取り入れられていました。二日目は防災井戸使用体験や備蓄庫見学等、実際に使用する設備について見学を行いました。子ども



防災キャンプにおける防災講話

もたちは新たな体験に興味津々であるとともに、地域の防災に対する意識を高めていました。

十二月には川越西小フェスティバル委員会との共催で、収穫祭が行われました。この収穫祭は、川鶴地区が宅地開発される前、畑作地だったことを子どもたちに知ってもらい、地区で育てた野菜等を収穫することで郷土について再認識してもらうというものです。



収穫祭での収穫体験

当日は川越西中学校体育館を会場として行われました。野菜の収穫体験の他にも川越西中学校の吹奏楽部の生徒による演奏、卓球部体験、豚汁講習会と中学生が積極的に活動に参加し、活躍している場面が数多く見られました。地域と学校が連携協力し、一体となって活動していました。



お子様の給食費等を援助します! (就学援助のお知らせ)

川越市では、経済的理由で公立小中学校への就学が困難なご家庭に対し、学校給食費や学用品費などの一部を援助しています。

「児童扶養手当を受給中の方(児童手当とは異なります)」や「世帯全員の所得額の合計が川越市教育委員会の定める基準額未満の方(基準額の具体例は右表をご覧ください)」等が対象となります。

援助をご希望の場合、毎年申請が必要です。詳しくは教育財務課へお問い合わせください。

<基準額の目安>

世帯構成(年齢)	持家の場合	借家の家賃月額 61,000円の場合
親(38)、子(6)	約263万円	約338万円
父(38)、母(38)、子(6)	約296万円	約371万円
父(38)、母(38)、子(8)、子(6)	約369万円	約444万円

■お問い合わせ先 教育財務課(財務担当) TEL : 224-6083

市教委だより No.114 発行/川越市教育委員会教育総務課 TEL (224)6074(直通)